

レセプトチェッカーLS インストール版 Ver. 1.4.0 S172(build026) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカーLSインストール版Ver. 1.4.0 S172導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカーLSインストール版をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は https://receiptcheckerls.info/rn_install/ でご確認ください）。

1. 導入についての注意事項

1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカーLSインストール版 S172更新用Setup.exeを利用される場合は、更新用Setup.exeをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

1-2. インストール方法

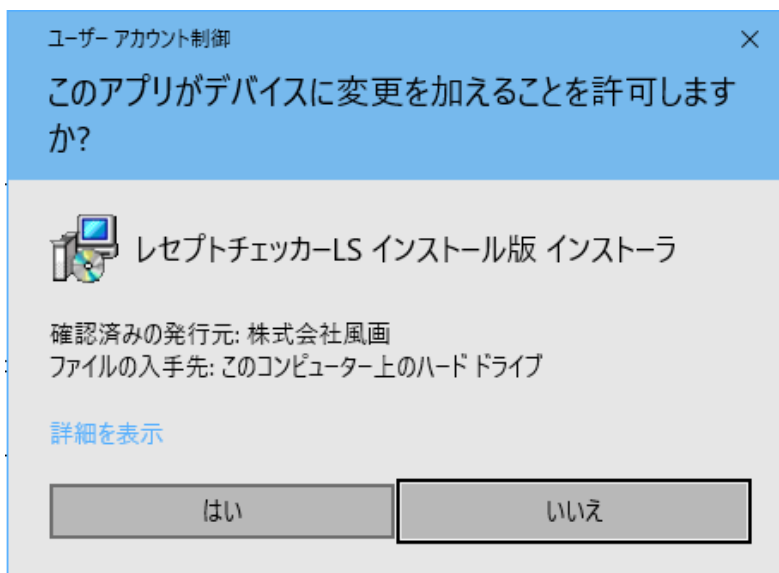
【手動更新】

(1) 下記サイトより、レセプトチェッカーLSインストール版更新用Setup.exeをダウンロードします。

レセプトチェッカーLSインストール版最新版のダウンロードサイト

https://receiptcheckerls.info/ls_version/

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。

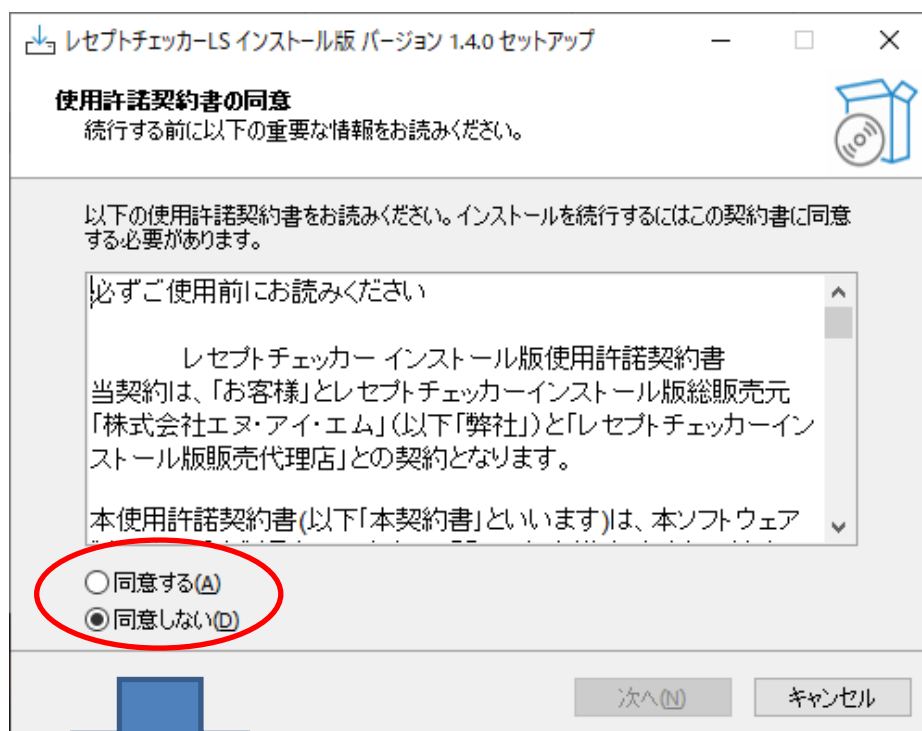


上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

「レセプトチェッカーLSインストール版 セットアップウイザードの開始」画面が表示された場合は「次へ」をクリックします。

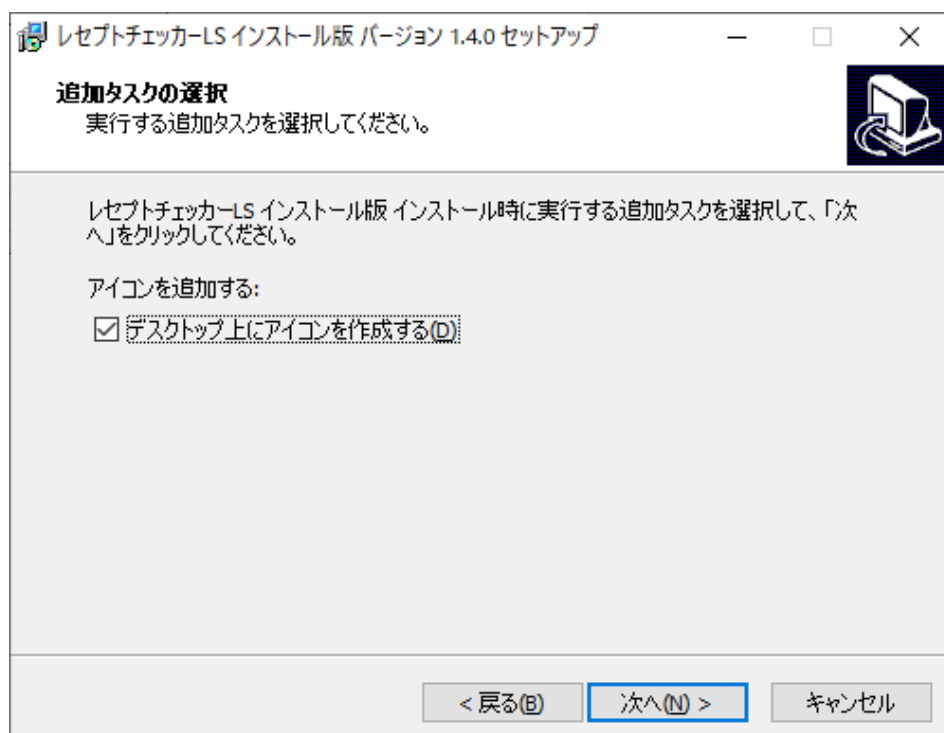
使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。



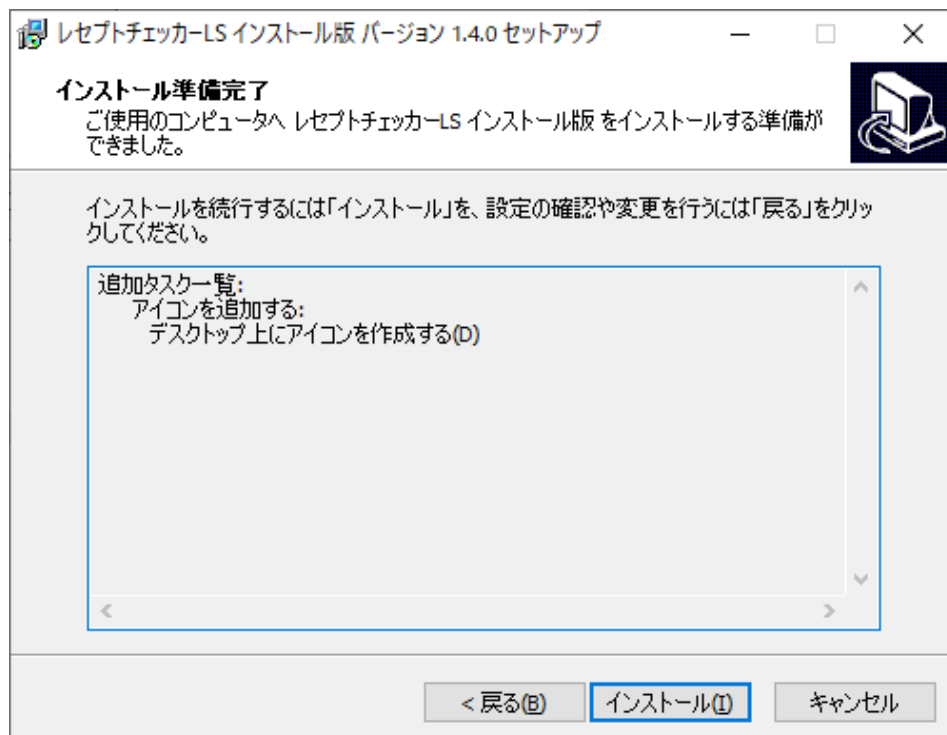
同意する(A)
 同意しない(D)

「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

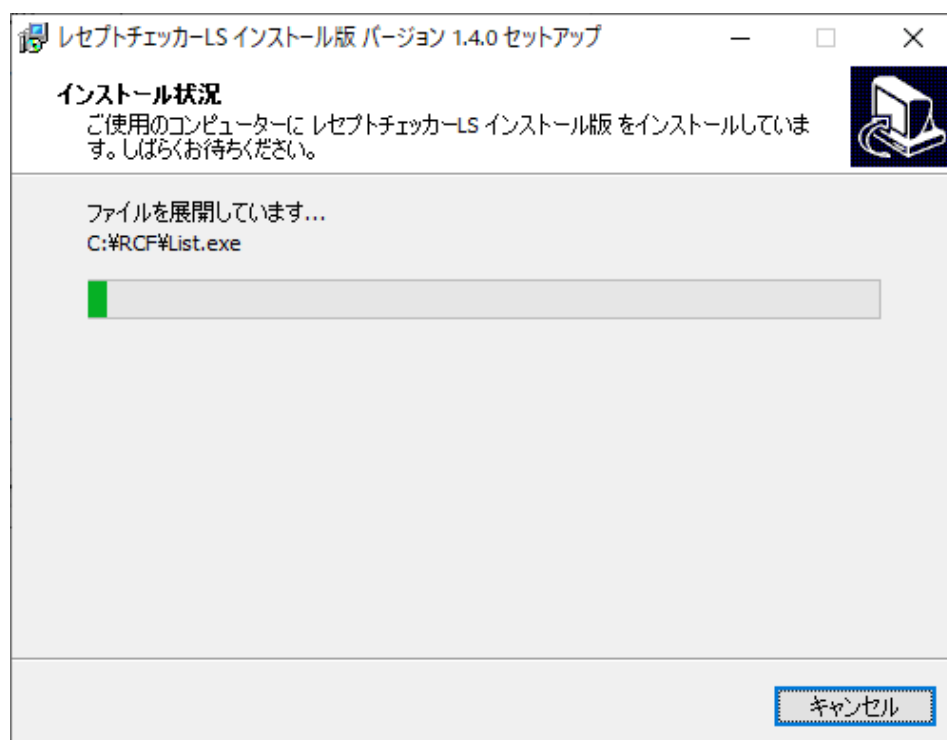
「レセプトチェッカー-LS インストール版」のアイコンを作成するので、「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックをいれて「次へ」をクリックします。



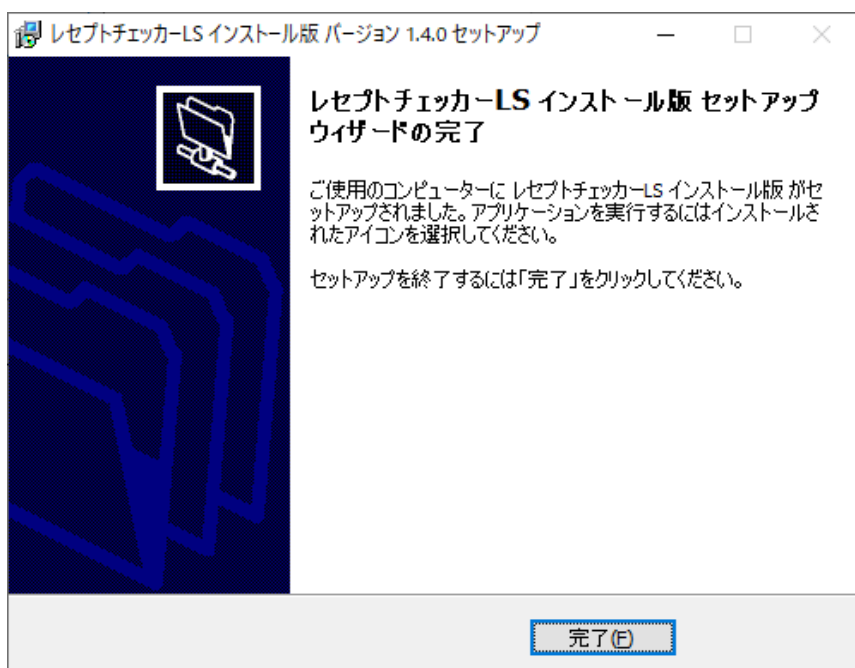
「インストール(I)」をクリックします。



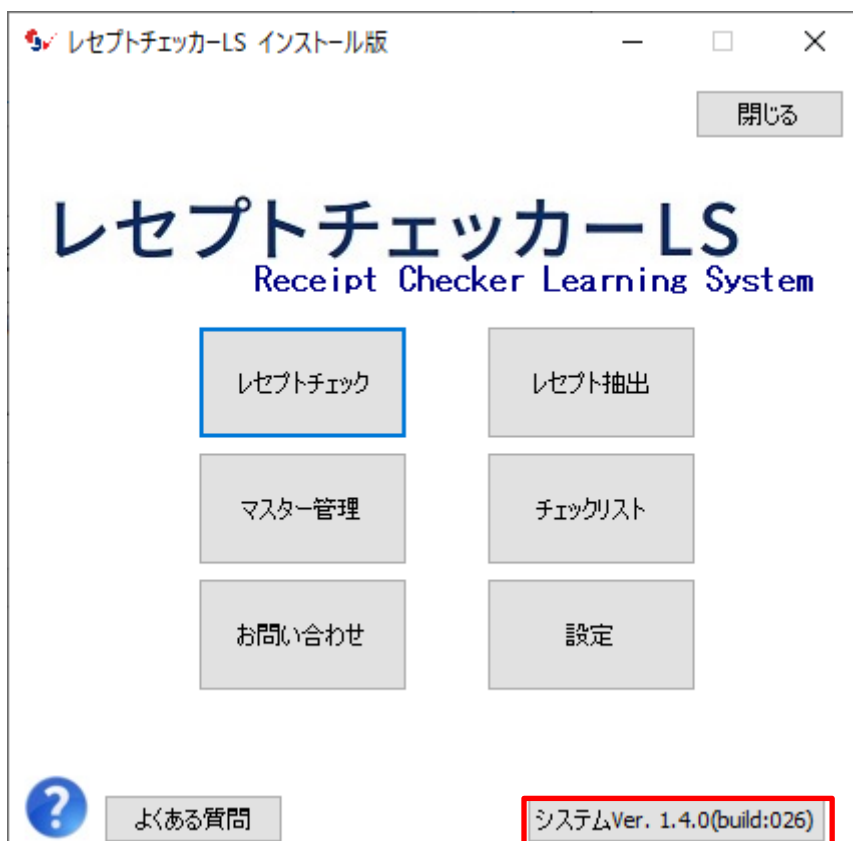
「インストール状況」が表示されます。



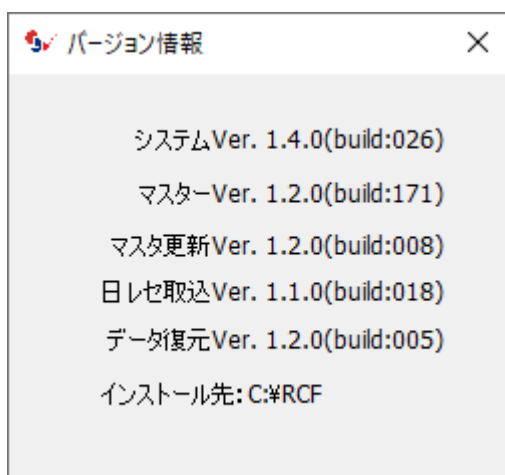
「レセプトチェッカーLS インストール版 セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。
「完了」をクリックして終了です。



(3) レセプトチェッカーLS インストール版のシステムバージョンは Ver. 1.4.0(build:026)になっております。



(4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.4.0(build:026)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。



【自動更新】

「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以降のバージョン場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は、左下図のように表示されますので、選択することができます。プログラム更新のみの場合は、左下図のように表示されます。

マスター更新（診療行為や医薬品追加）のみの場合は、「マスター更新の確認」画面は表示されず、自動的に更新されます。

【プログラム更新とマスター更新の場合】



【プログラム更新のみの場合】



「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以前のバージョンの場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム(Setup.exe)をダウンロードし、自動でインストール開始します。


以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。

「レセプトチェッカー-FUGA サイトへ」のボタンはプログラム更新後。「レセプトチェッカー-LS サイトへ」に変更されます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

2. 変更された主な内容

- (1) マスター更新はございません。

3. プログラム更新

- (1) 特定疾患処方管理加算算定チェックで、算定可能にもかかわらず、不合格になる不具合を修正しました。
- (1) 前回 「同一の処方において2種類以上の抗うつ薬又は2種類以上の抗精神病薬を投与した場合に、投与した抗うつ薬または抗精神病薬の種類数及びその医療上の必要性並びに副作用等について患者に説明し、説明した内容を診療録に記載するとともに、説明を行った旨を記載すること。」に対応し、「820101188 投与した抗うつ薬又は抗精神病薬の種類数及びその医療上の必要性並びに副作用等について説明を行った」という選択式コメントの存在チェックを行うようにしましたが、条件に不備（「通院精神療法」の算定がある場合等）があったため、チェックは行わないようにしています。申し訳ございませんでした。